

事業所名

じゆうちょうラボ 灘

支援プログラム

法人（事業所）理念		技術力で福を生み出し沢山の人に振り撒く
支援方針		技術力を身に着けるプログラミング、ITを取り入れた個別療育と、社会性・連帯感を身に着ける集団療育によりこどもの可能性を拡げていく
支 援 内 容		
五 領 域	健康・生活	来所時の健康状態の確認をする。生活リズムやスケジュールを考え実行できるように支援を行う。 手洗い・うがい・靴の脱ぎ履き・片付け・身の回りの整理整頓、日常生活動作の基本的スキルを獲得できるように支援を行う。
	運動・感覚	パソコン・タブレットの取り組みを通じて姿勢の保持ができるように支援する。タイピングを通じて手先の訓練を行う。 製作活動や遊びを通じて、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるように支援を行う。 指先の運動（ハサミの使用、ボタンの取り付け、箸の使い方など）および全身の運動（散歩、走ること、縄跳び、ダンスなど）を支援する。
	認知・行動	ビジュアルプログラミングを通じて認知能力や論理的思考を育む療育を実施する。 知育キットやお絵描きを通じて物の名称や色を識別できるように支援する。 野外行動や集団行動の中で相手の表情や行動、職員や保護者からの指示が認識できるよう訓練する。 朝の会や帰りの会で昨日や今日といった時間の認識ができるよう取り組む。 周囲の情報を取得し認識できた後、適切な行動に繋がれるように支援を行う。
	言語 コミュニケーション	集団活動の中で挨拶・お願い・拒否など（お辞儀などの非言語的表現を含む）を伝えられるよう訓練する。 相手の目を見る・対象のものに指を差す・質問に対して返答するなどコミュニケーションに必要な動作を学習させる。 特性に応じた読み書きの能力向上のための支援を行う。 プログラミング作品作りを通じて自分の考えを伝え、他者と肯定的な関わりを持てるようにする。 カードゲームや連想ゲーム等で相手の意図を理解する力や伝える力を伸ばし、言語表出を促す。
	人間関係 社会性	集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援を行う。 公共交通機関の利用や地域施設の利用などを通じて、社会的なマナーを身につけられるように支援を行う。 友人に対する認識と理解・身だしなみ・物事の順序・時間やスケジュールなどといった項目ごとに支援を行い社会性の向上を促す。 様々な療育プログラムの中で、考えていること、やりたいことなどを適切な方法で自己主張できるように支援を行う。